

周北小だより

令和3年11月 第265号
岩国市周東町瀬越2161番地
TEL(0827)86-0212
FAX(0827)86-0540

mail shuhoku-e@edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp HP <http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/shuhoku-e/>

<周東地区小中一貫教育目標>

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成

11月18日(木)、第3回目の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会では学校教育目標やその達成に向けた学校の取組、地域と連携した行事や活動について委員の方のご意見を伺い、改善していくための協議を行います。今回は2学期のいじめ防止の取組とふれあい参観日の日程についての説明の後、ハラスメント防止のための綱紀保持研修を行いました。

7月に実施した学校評価アンケート結果では、学校のいじめ防止の取組について「判断できない。よくわからない。」という回答が複数ありました。これは学校として取組の様子を家庭や地域にお知らせできていないことによるものととらえています。また、本校が最も重点を置く、地域とのつながりや個に応じた指導についても同様の回答をいただいています。コロナ禍のために、学校での子どもたちの姿を見ていただくことが難しく、学校だよりや学級だより、ホームページ等を通じて発信をしてきましたが、十分ではありませんでした。一方的な発信ではなく、思いや考えを語り合う場が大切であり、学校運営協議会はそのための仕組みです。今月号でお知らせする防災学習も学校運営協議会で励ましや応援をいただき、子どもたちも「地域のために」という思いを強くすることができました。学校と地域とのつながりをこれからもしっかりと深めていきたいと思えます。



校長 村田 泰伸

12月の行事予定

| | |
|---|------------------------------|
| 1日(水) 火災避難訓練、委員会活動 | 10日(金) 周東中学校説明会(6年生) |
| 2日(木) 豆腐作り(3・4年生) | 13日(月) ALT |
| 3日(金) 3校合同持久走大会(修成小) 租税教室(5・6年生) | 14日(火) 自動車図書館 オリパラ教室(修成小) |
| 6日(月) 集金日、英語教育推進教員来校 ALT 3校合同持久走大会予備日 | 15日(水) ALT、クラブ活動 |
| 7日(火) 6校連合修学旅行(6年生) | 21日(火) ALT |
| 8日(水) 6校連合修学旅行(6年生) | 23日(木) 2学期末懇談会(15:15~) |
| 9日(木) 薬物乱用防止教室(5・6年生) | 24日(金) 終業式、給食終了 |
| | 28日(火) ~1月4日(火) ※学校閉庁 |

※ 岩国市では、冬季休業中の学校閉庁期間を延長し、教職員の心身の健康増進や休暇取得促進を通して、学校運営の改善や教職員の働き方改革を推進することとしており、今年度は、12月28日(火)から1月4日(火)を学校閉庁日とします。

学校閉庁日における緊急時には、岩国市教育委員会を通して各学校長に連絡するようにしていますので、緊急の際は、岩国市教育委員会学校教育課または岩国市役所にご連絡ください。

<緊急連絡先> 岩国市教育委員会学校教育課 TEL 29-5203 (12/28・1/4)
岩国市役所 TEL (代)29-5000 (12/29~1/3)

周北小学校 第5・6学年 防災学習特集

周北小学校は、平成30年7月の西日本豪雨により、校舎内への浸水や敷地の崩壊などの大きな被害を受けました。



運動場が崩壊した様子



駐車場が崩壊した様子



校舎内に床上浸水した様子

被災を経験した周北小学校は、5・6年生を中心に防災学習に取り組んできました。昨年度までは、『自分の命を守るために大切なこと』をテーマとして、5・6年生が調べ学習を行い、まとめた内容をふれあい参観日などで発表してきました。

今年度は、さらに地域の人々の命を守りたいという思いで、『災害から地域の人々の命を守ろう!』をテーマにして防災学習に取り組んできました。学習のまとめにつきましては、11月27日(土)のふれあい参観日で発表しますが、学習の様子を地域の皆様にもお知らせします。

周北小学校 第5・6学年 防災学習の取組の様子

1 ねらい

平成30年7月7日(土)未明に起こった西日本豪雨による被災の経験を通して、自分たちの住むまちの災害による危険性を知り、自分の命・家族の命・地域の人々の命を守るために自分たちにできることを考えたり、地域で共助できることを考えたりして、「災害から地域の人々の命を守ろう!」とテーマを設定しました。

2 児童の様子

周北小学校5・6年生の児童[5年生1名、6年生2名(1名は5年生時転入)]は、平成30年7月7日(土)未明に起こった西日本豪雨による被災の恐ろしさを目の当たりにしています。土砂崩れによって流木が橋を壊し、あふれた川の水で運動場の土砂が流出したり校舎内が床上浸水したりしたために、修成小学校で授業を再開した経験から自然災害の恐ろしさを実感しています。今でも、雨が降り、サイレンが鳴ると「西日本豪雨を思い出す。」と言う程です。そして、被災した校舎をきれいにするために地域住民、保護者、ボランティアの方々が協力して土砂を汲み出してくださったことや、岩国市により運動場の整備や遊具の設置が進められたことに対しても感謝の気持ちをもっています。

3 具体的な活動の様子

- (1) 西日本豪雨について調べ、災害から地域の人々の命を守るためにできることを考えました。この際、タブレットを使い、災害時の様子の写真や現在の復旧中の写真を取り込み、視覚的に分かりやすくなるように工夫しました。また、避難するタイミングや避難所に行くための経路(数カ所考えておく)、避難する時に持って行く物、防災グッズの

確認、防災マップの活用、情報収集、近くのお年寄り等への声かけなど、防災についてのポイントをまとめました。どの児童も、早めの避難の大切さを感じていました。

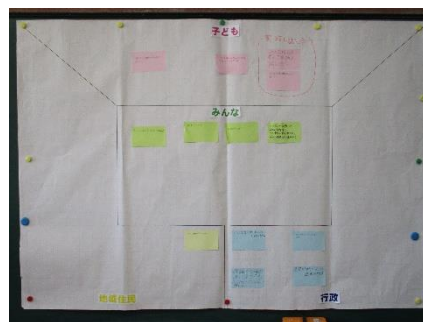
- (2) 地域で共助するための具体的な方法を考えました。そのために、地域住民や岩国市役所の危機管理課の方々とグループワークで熟議を行いました。そこでは、まず、児童がまとめたことを発表し、次に、「子どもたちでできること」「地域でできること」「行政ができること」「みんなができること」の4つの視点で話し合いました。一人ひとりから出された意見は、グループで話し合いながら表にまとめていきました。地域の方々や専門家と熟議を行うことによって、児童は新たな視点で考えを広げたり、自分の考えを深めたりしていきました。



調べたことを発表しました。



4つの視点で話し合いました。



意見をまとめました。

- (3) 自分たちが調べた内容やグループワークで話し合った内容をもとにして、『自分たちができること』を考えました。児童は、地域貢献として『避難所の掃除』と『ハザードマップ（*自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの）を地域の方々に配ること』の2点を考えました。

- (4) 保護者も参加した学校運営協議会では、自分たちが調べた内容や、これから自分たちが起こしたい行動について発表しました。参加された方々からは、「たいへんよく調べ、分かりやすくまとめて発表できている。」「児童手作りのハザードマップがあると、地域の方は本気で見るので、ぜひ作ってほしい。」などの感想や意見をいただきました。



『防災の大切なこと』や『これから自分たちが起こしたい行動』について発表しました。

- (5) 児童3名が、3地区（川越地区・檜余地地区・三瀬川地区）の『ハザードマップ』を手書きしたりタブレットを活用したりして手作りしました。また、11月19日（金）には、周東支所の方の案内で避難所の見学と掃除を実現することができました。

※ 児童が作成した『ハザードマップ』は、周北小学校の3つの地区それぞれのご家庭に、学校だよりと一緒に配布しております。また、インターネットで検索できる岩国市役所作成の『ハザードマップ』も一緒に載せています。



獺越地区ハザードマップ



檜余地地区ハザードマップ



三瀬川地区ハザードマップ



周東支所地域振興課の方からお話をいただきました。



みんなで避難所を雑巾がけしました。



掃除の後に、みんなで記念撮影をしました。

ハザードマップ作成や避難所清掃を行っての感想

- ・ 自助、共助、公助の3つを大切にしたいと思いました。
- ・ いつも避難所をきれいにしておくことで、避難をしたときに気持ちよく過ごせると感じました。
- ・ 雨や風が強くなってからでは避難が難しいので、早めの避難が大切ということが分かりました。
- ・ 地域の方々にとって、分かりやすく、これがあれば大丈夫だというハザードマップ作りをめざしました。

(6) 11月27日(土)のふれあい参観日では、防災学習のまとめとして地域の皆様に発表します。また、学校だよりでも地域の方々に防災の大切さを発信し、広めていきます。

3人の子どもたちから、防災について、地域の方へのメッセージ

- ・ ぼくは、災害で地域の方々を失いたくないので、早めの避難で自分の命を守ってください。ぼくは、この地域がとても大切です。
- ・ 少しでも危険を感じたら、近所の方と避難を開始してください。
- ・ 避難指示を待つのではなく、すぐに避難準備をしてください。
- ・ ぼくは、地域の方々の命が失われないように、毎日、自分として何ができるかを考えていきたいと思います。
- ・ 避難のための早めの準備や行動をすることで、地域の方々の命を守ることができます。万が一の時は、すぐに避難してください。

大切な地域の皆様へ